

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ほほ笑み星 とともに歩む			
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～	令和6年10月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数)	1人
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～	令和6年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・健康な体づくりを心掛けている。	・室内だけではなく、散歩や公園での遊びを大切にしている。	・バランスボールやトランポリン等を使って、子どもたちが楽しみながら取り組めるように工夫する、
2	・一人ひとりの障害特性に合わせた個別支援。	・少人数での支援。 ・子どもとの触れ合い。 ・子どもとの対話とコミュニケーション。	・障害の特性を深く知ること。 ・職員間での情報共有。 ・一人での支援から複数での支援へ。（チームでの支援） ・支援に関わる職員全員による支援プログラムの立案。
3	・生活能力の幅を広げることを考え、取り組んでいる。	・トイレへの声掛けや促し。 ・自立に向けての食事の介助。 ・着替えのサポート。	・子どもとの対話と行動の観察。 ・子どもの“できることが”増えるように新しいことへのチャレンジ。例えば、ハサミが使えるようになる。靴ひもが結べるようになる取組を考える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への非常時等への対応（緊急時・感染症等）に対する説明ができないこと。	・非常時対応マニュアルの見直しできていない。	・非常時対策マニュアルの見直しを進める。 ・非常時の対応について、ホームページやInstagram等でお知らせする。
2	・社内での研修ができていない。 ・外部での研修を受講する機会がない。	・必要な研修の見直しと選択できていない。 ・時間の調整が難しい。	・必要な研修の見直しと研修実施に向けての資料作り。 ・経験年数や勤務年数に応じた研修体系の構築。 ・経験年数に応じて取得できる資格について周知する。 ・職員一人ひとりへの研修を受ける希望についてヒアリングする。
3	・子どもたちと地域との交流機会や他の施設との交流。	・地域活動に対する情報収集が十分ではない。 ・他の福祉施設等について情報収集できていない。	・地域で参加できる行事について情報収集を進め参加する。 ・交流ができる施設等の開拓をする。 ・ホームページやInstagram等で交流先を募集する。